ＨＡＴＳ－Ｐ－００３－Ｖ１．０

ＰＢＸ間相互接続試験実施要領

－ＰＢＸ間ローミング付加サービス－

ＨＡＴＳ推進会議
（高度通信システム相互接続推進会議）
ＰＢＸテレコムサーバ相互接続試験実施連絡会

ＰＢＸ間相互接続試験実施要領　－ＰＢＸ間ローミング付加サービス－

改定履歴

版	改定年月日	改定内容	担当
0.0	1999年11月1日	ＴＴＣにて TTC-G-017-V2 として制定	伊藤
1.0	2007年3月31日	ＴＴＣより譲渡	伊藤

TTC－G－017－V2

TTC相互接続試験実施ガイドライン

PBX間相互接続試験
実施ガイドライン
－PBX間ローミング付加サービス－

第２版

１９９９年１１月１日制定

保存用

社団法人

電信電話技術委員会

THE TELECOMMUNICATION TECHNOLOGY COMMITTEE

ＴＴＣ－Ｇ－０１７－Ｖ２

TTC相互接続試験実施ガイドライン

PBX間相互接続試験
実施ガイドライン
－PBX間ローミング付加サービス－

第２版

１９９９年１１月１日制定

社団法人

電信電話技術委員会

THE TELECOMMUNICATION TECHNOLOGY COMMITTEE

ＴＴＣ相互接続試験実施ガイドライン改版履歴

（ＰＢＸ間相互接続試験実施ガイドライン　－ＰＢＸ間ローミング付加サービスー）

版　数	制　定　日	改　　版　　内　　容
第1版	１９９８年　9月　4日	制　定
第2版	１９９９年11月　1日	準拠する標準（ＪＪ－２０．６０）が、認証手順追加（シナリオ１ａ）のため改版されたことを反映。

目　次

第１章　目的

社団法人電波産業会（ＡＲＩＢ）での、第二世代コードレス電話システムの標準化により、事業所におけるディジタルコードレス内線としての需要が急速に伸びている。加えて、（社）電信電話技術委員会（ＴＴＣ）での私設網に適用可能な信号プロトコルの標準化により、異なるＰＢＸ配下に移動しても発着信可能とする、ＰＢＸ間ローミング付加サービスに対する期待が高まっている。

私設網における、ディジタルインタフェース（共通チャネル形信号方式）としてＪＴ－Ｑ９２１－ａ、ＪＴ－Ｑ９３１－ａ、ＪＳ－１１５７２が国内標準として制定されており、大規模事業所コードレスシステムの様な複数のＰＢＸの無線サービスエリア間を移動する端末に対し、所在に関わらずサービスを提供するための信号プロトコルＪＪ－２０．６０が平成８年に制定された。

さらに平成１０年、端末に対する認証情報をＰＢＸ間で通知する事により、私設網内で複数の認証演算アルゴリズムが存在できるようＪＪ－２０．６０が第２版に改版され、本ガイドラインも拡張機能に対応するため、試験手順の追加を行った。

上記基準などに基づく製品が各製造業者から製造・販売される中で、各ユーザのＰＢＸ導入を円滑に促進するためには、各製造業者間での相互接続性の確保が必要不可欠であるが、製品化初期においては、標準に準拠して製造される製品同士でも異なる製造業者間での相互接続性が確保されない場合があり、相互接続性の確保が重要な課題となっている。

本ガイドラインは、このような状況を鑑み、各社が製造するＰＢＸ間ローミング付加サービスの相互接続性を確保するため実施すべき相互接続試験の内容、手順等について規定するものである。

今後、通信機械工業会が事務局を務める「ＰＢＸ相互接続試験実施連絡会」等の相互接続実施機関（自ら相互接続試験を実施するものを含む）等において、本ガイドラインにしたがった相互接続試験が実施されることを通じて、我が国におけるＰＢＸの普及に向けた環境整備が発展するとともに、標準の実効性、新たな標準への反映等に資するものである。

尚、試験環境及び試験機器に対するデータ設定等に関しては、相互接続試験実施機関等が別に定める接続試験実施要領書に従うこととする。

第２章　相互接続試験の対象範囲

ＰＢＸの相互接続性は、相互のＰＢＸに第二世代コードレス電話システム標準規格（ＲＣＲ　ＳＴＤ－２８）に準拠した端末を接続し、複数ＰＢＸの無線サービスエリア間を移動する移動局に対する位置登録や発着信の動作を確認することを通じてＰＢＸ間のＱ点インタフェースの機能を間接的に確認するものとする。
ここでＱ点とは、物理インタフェースに依存しないＰＢＸ間の論理的参照点である。

２．１　試験対象機器

ＩＳＤＮサービスを提供するＰＢＸ（ボタン電話を含む）であり、２．４に示す標準（共通チャネル形信号方式等）に準拠するよう開発された装置とする。

２．２　接続形態

・ＰＢＸ間を直接接続し、そのリンク上で共通チャネル形信号方式（１．５Ｍ）による接続試験を行う。図１に接続形態を示す。
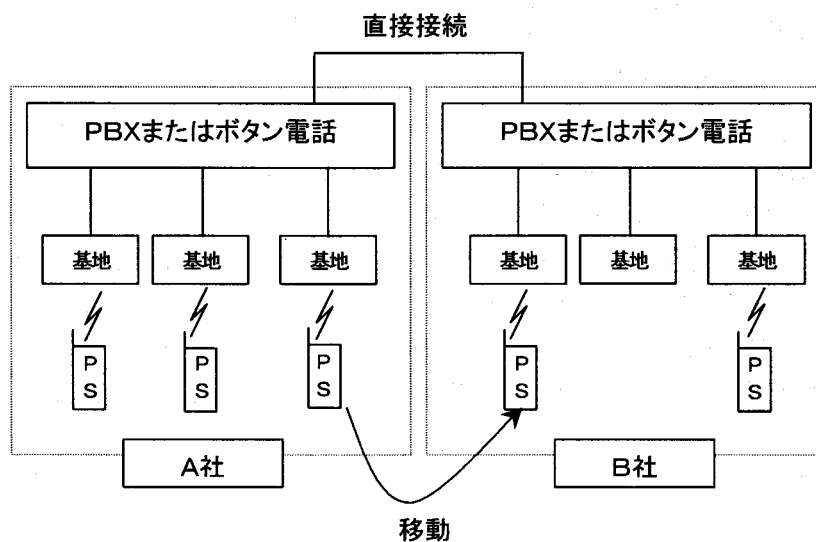
図１　　相互接続試験形態

２．３　試験対象サービス

・ＰＢＸ間を移動する移動局に対して、位置登録、発着信を提供するＰＢＸ間付加サービス。
また、移動局に対する認証として、以下の２つの手順を規定する。

・シナリオ１　：認証演算アルゴリズムが全ＰＢＸ間で同一で、かつ移動局の認証鍵を全ＰＢＸが利用可能。

・シナリオ１ａ：シナリオ１において複数の認証演算を利用可能。

（注）試験対象サービスは製品の実装により決定される。

２．４　準拠すべき標準

・ＴＴＣ標準　ＪＴ－Ｑ９２１－ａ　ＰＢＸ間ﾃﾞｨｼﾞﾀﾙｲﾝﾀﾌｪｰｽ（共通ﾁｬﾈﾙ形信号方式）
－レイヤ２仕様－

・ＴＴＣ標準　ＪＴ－Ｑ９３１－ａ　ＰＢＸ間ﾃﾞｨｼﾞﾀﾙｲﾝﾀﾌｪｰｽ（共通ﾁｬﾈﾙ形信号方式）
－レイヤ３仕様－

または、ＴＴＣ標準　ＪＳ－１１５７２　私設総合サービス網（回線交換ﾍﾞｱﾗｻｰﾋﾞｽ）
－ＰＢＸ間信号プロトコルレイヤ３仕様－

・ＴＴＣ標準　ＪＳ－１１５８２　私設総合サービス網（付加ｻｰﾋﾞｽの為の汎用機能手順）
－ＰＢＸ間信号プロトコルレイヤ３仕様－

・ＴＴＣ標準　ＪＪ－２０．６０　私設総合サービス網（ＰＢＸ間ローミング付加サービス）
－ＰＢＸ間信号プロトコル仕様－

（注）相互接続試験の実施に関し以下の標準を参考のため記載する。

・ＴＴＣ標準　ＪＪ－２０．２０　PBX 間ﾃﾞｨｼﾞﾀﾙｲﾝﾀﾌｪｰｽ（共通ﾁｬﾈﾙ形信号方式）－概説－
・ＴＴＣ標準　ＪＪ－２０．２１　PBX 間ﾃﾞｨｼﾞﾀﾙｲﾝﾀﾌｪｰｽ（共通ﾁｬﾈﾙ形信号方式）－接続構成－
・ＴＴＣ標準　ＪＪ－２０．２２　PBX 間ﾃﾞｨｼﾞﾀﾙｲﾝﾀﾌｪｰｽ（共通ﾁｬﾈﾙ形信号方式）－ｻｰﾋﾞｽ条件－
・ＴＴＣ標準　ＪＴ－Ｉ４３１－ｃ　PBX 間ﾃﾞｨｼﾞﾀﾙｲﾝﾀﾌｪｰｽ（共通ﾁｬﾈﾙ形信号方式）
－一次群速度レイヤ１仕様－
・ＡＲＩＢ標準　ＲＣＲ　ＳＴＤ－２８　第二世代コードレス電話システム標準規格

第３章　相互接続試験の実施形態

相互接続試験の実施形態は以下の６形態に分類される。

① サービスプロファイル問い合わせ
ホームＰＢＸに、ＰＢＸ間ローミング付加サービスに必要なサービスプロファイル情報問い合わせを行い、情報が取得できることを確認する。

② 位置登録
ＰＳのローミング番号がホームＰＢＸ及びビジタＰＢＸに登録されることを確認する。

③ 発信
ビジタＰＢＸに在圏するＰＳより発信し、その通話の正常性を確認する。

④ ローミング着信
ビジタＰＢＸに在圏するＰＳに着信し、その通話の正常性を確認する。

⑤ 位置情報照合
ビジタＰＢＸとホームＰＢＸの位置情報が照合されることを確認する。

⑥ 位置登録削除
ビジタＰＢＸに存在するＰＳの情報が消去されることを確認する。

第４章　相互接続試験参加の前提条件

４．１　前提条件

相互接続試験参加にあたっては、以下の条件を前提とする。

（１） 相互接続試験で使用する端末認証演算アルゴリズムが、全ＰＢＸで同一の場合、端末の認証鍵を全ＰＢＸが利用可能とするため、ＰＢＸに実装される演算アルゴリズムに対応可能な端末を使用すること。

（２） 相互接続試験で使用する端末認証演算アルゴリズムが複数存在する場合、端末の認証鍵をビジタ局で利用可能とするため、ホーム局はビジタ局に対して認証鍵情報を送出すること。

４．２　不定期接続試験依頼の対応

不定期に接続試験の依頼があった場合は既に接続試験の結果が得られている２社以上の製造業者が参加し、接続試験を行う。

第５章　試験実施方法

５．１　事前確認

試験参加各社は、ＰＢＸ間ローミング付加サービス相互接続試験においては、伝達能力（ＢＣ）、チャネル識別子、発番号、着番号、ファシリティのコーディングおよび条件リストについて、事前に情報交換を行う。
（参考として、コーディングの様式を別紙１－１～２０、条件リストを別紙２－１，２）に示す。なお、これらの様式の内容は、試験内容の変化等に応じ、相互接続機関等で適宜変更されるものである。）

５．２　実施場所

試験実施場所に関しては、相互接続試験実施機関等が指定する試験場所に機器を持ち込んで実施する。

５．３　試験の実施

５．３．１　試験での留意点

試験の実施にあたっては、以下のことを留意する。

・効率的に試験を実施するため、トラブルの有無に関わらず、各試験を一定時間内に終了すべきである。

５．３．２　各試験での共通手順等

各試験に共通の手順等を以下に示す。

・原則として、各製造業者等の試験対象機器の総当たりにより試験を実施する。
・局番号は、試験参加者間で仮の局番を付与する。
・システムＩＤは、試験参加者間で仮のシステムＩＤを付与する。
・ローミングを行うＰＳは、予め各社のＰＢＸにおける無線区間インタフェースとの適合確認を行ったものを使用する。
・ローミングを行うＰＳは、ローミング先のシステムＩＤを予め記憶したものを使用する。
・ＴＴＣ標準　ＪＪ－２０．６０のシナリオ１による試験を実施する場合、試験参加者間で実装する端末認証アルゴリズムを事前に決定すること。
・ＴＴＣ標準　ＪＪ－２０．６０のシナリオ１ａによる試験を実施する場合、試験参加者間で実装する端末認証アルゴリズムの種類と認証鍵情報との対応を事前に確認すること。

５．４　相互接続試験手順書等

５．４．１　サービスプロファイル問い合せ・位置登録

（１）事前確認事項

・メッセージの内容を事前に確認すること。
・ＰＳにビジタ局のシステムＩＤ及び局番が登録されていること。

（２）試験項目

・ビジタ局にて位置登録させ、ホームロケーションレジスタ及びビジタロケーションレジスタが登録されることを確認する。（参考としてチェックリストを別紙３－１～４に付す。）

（３）試験手順

①　ビジタ局の基地局の電源を投入後、ホーム局の基地局の電源を切り、ビジタ局の基地局経由でホーム局に位置登録できることを確認する。
②　ビジタ局のビジタロケーションレジスタが登録されていることを確認する。
③　ホーム局のホームロケーションレジスタが登録されていることを確認する。

５．４．２　発信

（１）事前確認事項

・メッセージの内容を事前に確認すること。

・ホームロケーションレジスタ及びビジタロケーションレジスタが登録されていること。

（２）　試験項目

・ローミング中のＰＳから発信できることを確認する。
（参考としてチェックリストを別紙３－１～４に付す。）

（３）　試験手順

①　ビジタ局のＰＳからビジタ局の一般内線に発信して、一般内線で応答する。

②　両方向の通話が正常にできることを確認する。

５．４．３　ローミング着信

（１）事前確認事項

・メッセージの内容を事前に確認すること。

・ホームロケーションレジスタ及びビジタロケーションレジスタが登録されていること。

（２）　試験項目

・ローミング中の端末へ着信できることを確認する。
（参考としてチェックリストを別紙３－１～４に付す。）

（３）　試験手順

①　ホーム局の一般内線から発信して、ビジタ局のＰＳへ着信させ応答する。

②　両方向の通話が正常にできることを確認する。

③　ビジタ局から発信してビジタ局のＰＳへ着信させ応答する。

④　両方向の通話が正常にできることを確認する。

５．４．４　位置情報照合

（１）事前確認事項

・メッセージの内容を事前に確認すること。

・ホームロケーションレジスタ及びビジタロケーションレジスタが登録されていること。

（２）　試験項目

・ビジタ局とホーム局間でデータベース整合ができることを確認する。
（参考としてチェックリストを別紙３－１～４に付す。）

（３）　試験手順

①　ビジタ局からホーム局に対してデータベース整合を行う。

②　正常の場合、ホームロケーションレジスタ及びビジタロケーションレジスタが削除されないことを確認する。

③　ホームロケーションレジスタが無い場合、ビジタロケーションレジスタが削除さることを確認する。

５．４．５　位置登録削除

（１）事前確認事項

・メッセージの内容を事前に確認すること。

・ホームロケーションレジスタ及びビジタロケーションレジスタが登録されていること。

（２）　試験項目

・　ホーム局にて位置登録させ、ホームロケーションレジスタ及びビジタロケーションレジスタが削除されることを確認する。（参考としてチェックリストを別紙３－１～４に付す。）

（３）　試験手順

①　ホーム局の基地局の電源を投入後、ビジタ局の基地局の電源を切り、ホーム局の基地局経由でローミング状態が解除されることを確認する。

②　ビジタ局のビジタロケーションレジスタが削除されていることを確認する。

③　ホーム局のホームロケーションレジスタが削除されていることを確認する。

第６章　試験結果のとりまとめとその後の手続き

６．１ 試験結果のとりまとめ

相互接続試験終了後、相互接続実施機関等は試験結果をとりまとめるものとする。
（様式の例を別紙３－１～４、４－１、４－２に示す。）
当該機関等は、必要に応じ相互接続試験結果を標準活動にフィードバックするものとする。

６．２ ＴＴＣ標準準拠表示について

相互接続試験を実施し良好な試験結果を得た製造業者等が、ＴＴＣ標準準拠表示を行おうとするときには、「ＴＴＣ標準準拠表示取扱要領」にしたがい、同試験の結果を添付した書類をＴＴＣに届け出ることとする。その届出により、本ガイドラインに基づき試験が実施され、所期の試験結果が得られたことをＴＴＣが確認した場合には、当該機器がＴＴＣ標準等に準拠していることを示すＴＴＣマークまたは取扱説明書等へ文章による表示を行うことが可能となる。

尚、本ガイドラインの試験対象サービスで、下記１）項または２）項のいずれかの試験の良好な試験結果が得られた場合でも届出可能とする。

１）本ガイドラインの２．３項のシナリオ１での相互接続試験
２）本ガイドラインの２．３項のシナリオ１ａでの相互接続試験

別紙１－１（１／３）

会社名
担　当
ＴＥＬ
ＦＡＸ

ＰＢＸ間ローミングサービス
（Ｑ９３１－ａ）

サービスプロファイル問い合せ時の呼設定メッセージに関する情報要素
[パターン　　/　　]（複数のパターンの場合には、用紙を複写して記入すること。）

伝達能力（ＢＣ）			チャネル識別子		
＿＿＿＿			＿＿＿＿		
オクテット	コーディング		オクテット	コーディング	
1	０００００１００	０４	1	０００１１０００	18
2			2		
3			3		
3 a			3. 1		
4			3. 2		
4a			3. 3		
4b					
5					
5a					
5b					
5c					
5d					
6					
6a					
7					
7a					

[記入上の注意点]

（１）省略されるオクテットには、何も記入せずブランクとすること。

（２）提出する様式には、１枚１枚に必ず会社名などを記入すること。

[備考]

別紙１－１（２／３）

会社名
担　当
ＴＥＬ
ＦＡＸ

ＰＢＸ間ローミングサービス
（Ｑ９３１－ａ）

サービスプロファイル問い合せ時の呼設定メッセージに関する情報要素

［パターン　　／　　］（複数のパターンの場合には、用紙を複写して記入すること。）

発番号			着番号		
指定する･省略する			――――――		
ｵｸﾃｯﾄ	コーディング		ｵｸﾃｯﾄ	コーディング	
1	０１１０１１００	6C	1	０１１１００００	70
2			2		
3			3		
3ａ			4		
4					

［記入上の注意点］

（１）省略されるオクテットには、何も記入せずブランクとすること。

（２）提出する様式には、１枚１枚に必ず会社名などを記入すること。

［備考］

別紙１－１（３／３）

会社名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
担　当＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
ＴＥＬ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
ＦＡＸ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

ＰＢＸ間ローミングサービス
（Ｑ９３１－ａ）

サービスプロファイル問い合せ時の呼設定メッセージに関する情報要素

［パターン　　／　　］（複数のパターンの場合には、用紙を複写して記入すること。）

ファシリティ			＿＿＿＿			＿＿＿＿		
＿＿＿＿			＿＿＿＿			＿＿＿＿		
オクテット	コーディング		オクテット	コーディング		オクテット	コーディング	
1	０００１１１００	1C						
2								
3								

［記入上の注意点］

（１）省略されるオクテットには、何も記入せずブランクとすること。

（２）提出する様式には、１枚１枚に必ず会社名などを記入すること。

［備考］

別紙１－２（１／３）

会社名
担　当
ＴＥＬ
ＦＡＸ

ＰＢＸ間ローミングサービス
（Ｑ９３１－ａ）

位置登録削除時の呼設定メッセージに関する情報要素
［パターン　　／　　］（複数のパターンの場合には、用紙を複写して記入すること。）

伝達能力（ＢＣ）			チャネル識別子		
オクテット	コーディング		オクテット	コーディング	
1	０００００１００	０４	1	０００１１０００	18
2			2		
3			3		
3 a			3. 1		
4			3. 2		
4a			3. 3		
4b					
5					
5a					
5b					
5c					
5d					
6					
6a					
7					
7a					

［記入上の注意点］
（１）省略されるオクテットには、何も記入せずブランクとすること。
（２）提出する様式には、１枚１枚に必ず会社名などを記入すること。

［備考］

別紙１－２（２／３）

会社名
担　当
ＴＥＬ
ＦＡＸ

ＰＢＸ間ローミングサービス
（Ｑ９３１－ａ）

位置登録削除時の呼設定メッセージに関する情報要素

［パターン　　／　　］　（複数のパターンの場合には、用紙を複写して記入すること。）

発番号			着番号		
指定する･省略する			――――		
オクテット	コーディング		オクテット	コーディング	
1	０１１０１１００	6C	1	０１１１００００	70
2			2		
3			3		
3ａ			4		
4					

［記入上の注意点］

（１）省略されるオクテットには、何も記入せずブランクとすること。

（２）提出する様式には、１枚１枚に必ず会社名などを記入すること。

［備考］

別紙１－２（３／３）

会社名

担　当

ＴＥＬ

ＦＡＸ

ＰＢＸ間ローミングサービス
（Ｑ９３１－ａ）

位置登録削除時の呼設定メッセージに関する情報要素

［パターン　　／　　］（複数のパターンの場合には、用紙を複写して記入すること。）

ファシリティ								
オクテット	コーディング		オクテット	コーディング		オクテット	コーディング	
1	０００１１１００	1C						
2								
3								

［記入上の注意点］

（１）省略されるオクテットには、何も記入せずブランクとすること。

（２）提出する様式には、１枚１枚に必ず会社名などを記入すること。

［備考］

別紙１－３（１／３）

会社名
担　当
ＴＥＬ
ＦＡＸ

ＰＢＸ間ローミングサービス
（Ｑ９３１－ａ）

ローミング着信時の呼設定メッセージに関する情報要素
［パターン　　／　　］（複数のパターンの場合には、用紙を複写して記入すること。）

伝達能力（ＢＣ）			チャネル識別子		
＿＿＿＿＿＿			＿＿＿＿＿＿		
オクテット	コーディング		オクテット	コーディング	
1	０００００１００	０４	1	０００１１０００	18
2			2		
3			3		
3ａ			3.1		
4			3.2		
4a			3.3		
4b					
5					
5a					
5b					
5c					
5d					
6					
6a					
7					
7a					

［記入上の注意点］
（１）省略されるオクテットには、何も記入せずブランクとすること。
（２）提出する様式には、１枚１枚に必ず会社名などを記入すること。

［備考］

別紙１－３（２／３）

会社名
担　当
ＴＥＬ
ＦＡＸ

ＰＢＸ間ローミングサービス
（Ｑ９３１－ａ）

ローミング着信時の呼設定メッセージに関する情報要素

[パターン　　/　　]　（複数のパターンの場合には、用紙を複写して記入すること。）

発番号			着番号		
指定する･省略する			――――――		
オクテット	コーディング		オクテット	コーディング	
1	０１１０１１００	6C	1	０１１１００００	70
2			2		
3			3		
3ａ			4		
4					

[記入上の注意点]

（１）省略されるオクテットには、何も記入せずブランクとすること。

（２）提出する様式には、１枚１枚に必ず会社名などを記入すること。

[備考]

別紙１－３（３／３）

会社名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

担　当＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

ＴＥＬ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

ＦＡＸ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

ＰＢＸ間ローミングサービス
（Ｑ９３１－ａ）

ローミング着信時の呼設定メッセージに関する情報要素

[パターン　　/　　]　(複数のパターンの場合には、用紙を複写して記入すること。)

ファシリティ								
オクテット	コーディング		オクテット	コーディング		オクテット	コーディング	
1	０００１１１００	1C						
2								
3								

[記入上の注意点]

（１）省略されるオクテットには、何も記入せずブランクとすること。

（２）提出する様式には、１枚１枚に必ず会社名などを記入すること。

[備考]

別紙１－４（１／３）

会社名
担　当
ＴＥＬ
ＦＡＸ

ＰＢＸ間ローミングサービス
（Ｑ９３１－ａ）

位置情報照合（Ｈ→Ｖ）時の呼設定メッセージに関する情報要素
［パターン　　／　　］（複数のパターンの場合には、用紙を複写して記入すること。）

伝達能力（ＢＣ）			チャネル識別子		
――――			――――		
オクテット	コーディング		オクテット	コーディング	
1	０００００１００	０４	1	０００１１０００	18
2			2		
3			3		
3 a			3. 1		
4			3. 2		
4a			3. 3		
4b					
5					
5a					
5b					
5c					
5d					
6					
6a					
7					
7a					

[記入上の注意点]

（１）省略されるオクテットには、何も記入せずブランクとすること。
（２）提出する様式には、１枚１枚に必ず会社名などを記入すること。

[備考]

別紙１－４（２／３）

会社名

担　当

ＴＥＬ

ＦＡＸ

ＰＢＸ間ローミングサービス
（Ｑ９３１－ａ）

位置情報照合（Ｈ→Ｖ）時の呼設定メッセージに関する情報要素
［パターン　　／　　］（複数のパターンの場合には、用紙を複写して記入すること。）

発番号			着番号		
指定する・省略する			――――――		
オクテット	コーディング		オクテット	コーディング	
1	０１１０１１００	6C	1	０１１１００００	70
2			2		
3			3		
3ａ			4		
4					

［記入上の注意点］

（１）省略されるオクテットには、何も記入せずブランクとすること。

（２）提出する様式には、１枚１枚に必ず会社名などを記入すること。

［備考］

別紙１－４（３／３）

会社名
担　当
ＴＥＬ
ＦＡＸ

ＰＢＸ間ローミングサービス
（Ｑ９３１－ａ）

位置情報照合（Ｈ→Ｖ）時の呼設定メッセージに関する情報要素
［パターン　　／　　］（複数のパターンの場合には、用紙を複写して記入すること。）

ファシリティ								
オクテット	コーディング		オクテット	コーディング		オクテット	コーディング	
1	０００１１１００	1C						
2								
3								

［記入上の注意点］
（１）省略されるオクテットには、何も記入せずブランクとすること。
（２）提出する様式には、１枚１枚に必ず会社名などを記入すること。

［備考］

別紙１－５（１／３）

会社名
担　当
ＴＥＬ
ＦＡＸ

ＰＢＸ間ローミングサービス
（Ｑ９３１－ａ）

位置情報照合（Ｖ→Ｈ）時の呼設定メッセージに関する情報要素
［パターン　　／　　］（複数のパターンの場合には、用紙を複写して記入すること。）

伝達能力（ＢＣ）			チャネル識別子		
＿＿＿＿＿＿			＿＿＿＿＿＿		
オクテット	コーディング		オクテット	コーディング	
1	０００００１００	０４	1	０００１１０００	18
2			2		
3			3		
3 a			3. 1		
4			3. 2		
4a			3. 3		
4b					
5					
5a					
5b					
5c					
5d					
6					
6a					
7					
7a					

［記入上の注意点］

（１）省略されるオクテットには、何も記入せずブランクとすること。

（２）提出する様式には、１枚１枚に必ず会社名などを記入すること。

［備考］

別紙１－５（２／３）

会社名
担　当
ＴＥＬ
ＦＡＸ

ＰＢＸ間ローミングサービス
（Ｑ９３１－ａ）

位置情報照合（Ｖ→Ｈ）時の呼設定メッセージに関する情報要素
［パターン　　／　　］（複数のパターンの場合には、用紙を複写して記入すること。）

発番号			着番号		
指定する･省略する			――――		
オクテット	コーディング		オクテット	コーディング	
1	０１１０１１００	6C	1	０１１１００００	70
2			2		
3			3		
3a			4		
4					

［記入上の注意点］
（１）省略されるオクテットには、何も記入せずブランクとすること。
（２）提出する様式には、１枚１枚に必ず会社名などを記入すること。

［備考］

別紙１－５（３／３）

会社名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
担　当＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
ＴＥＬ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
ＦＡＸ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

ＰＢＸ間ローミングサービス
（Ｑ９３１－ａ）

位置情報照合（Ｖ→Ｈ）時の呼設定メッセージに関する情報要素
[パターン　　／　　]　（複数のパターンの場合には、用紙を複写して記入すること。）

ファシリティ			＿＿＿＿＿＿			＿＿＿＿＿＿		
	＿＿＿＿＿＿		＿＿＿＿＿＿			＿＿＿＿＿＿		
オクテット	コーディング		オクテット	コーディング		オクテット	コーディング	
1	０００１１１００	1C						
2								
3								

[記入上の注意点]
（１）省略されるオクテットには、何も記入せずブランクとすること。
（２）提出する様式には、１枚１枚に必ず会社名などを記入すること。

[備考]

別紙１－６（１／２）

会社名
担　当
ＴＥＬ
ＦＡＸ

ＰＢＸ間ローミングサービス
（Ｑ９３１－ａ）

サービスプロファイル問い合せ応答時の応答メッセージに関する情報要素（シナリオ１）

［パターン　　／　　］　（複数のパターンの場合には、用紙を複写して記入すること。）

ファシリティ								
オクテット	コーディング		オクテット	コーディング		オクテット	コーディング	
1	０００１１１００	1C						
2								
3								

［記入上の注意点］

（１）省略されるオクテットには、何も記入せずブランクとすること。

（２）提出する様式には、１枚１枚に必ず会社名などを記入すること。

［備考］

別紙１－６（２／２）

会社名
担　当
ＴＥＬ
ＦＡＸ

ＰＢＸ間ローミングサービス
（Ｑ９３１－ａ）

サービスプロファイル問い合せ応答時の応答メッセージに関する情報要素（シナリオ１ａ）

［パターン　　／　　］（複数のパターンの場合には、用紙を複写して記入すること。）

ファシリティ								
オクテット	コーディング		オクテット	コーディング		オクテット	コーディング	
1	０００１１１００	1C						
2								
3								

［記入上の注意点］

（１）省略されるオクテットには、何も記入せずブランクとすること。

（２）提出する様式には、１枚１枚に必ず会社名などを記入すること。

（３）通知する認証種別情報要素と、認証演算アルゴリズムの対応を備考に記述すること。

［備考］

別紙１－７（１／１）

会社名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
担　当＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
ＴＥＬ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
ＦＡＸ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

ＰＢＸ間ローミングサービス
（Ｑ９３１－ａ）

位置登録削除時の応答メッセージに関する情報要素
[パターン　　／　　]　（複数のパターンの場合には、用紙を複写して記入すること。）

ファシリティ								
オクテット	コーディング		オクテット	コーディング		オクテット	コーディング	
1	０００１１１００	1C						
2								
3								

[記入上の注意点]
（１）省略されるオクテットには、何も記入せずブランクとすること。
（２）提出する様式には、１枚１枚に必ず会社名などを記入すること。

[備考]

別紙１－８（１／１）

会社名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

担　当＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

ＴＥＬ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

ＦＡＸ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

ＰＢＸ間ローミングサービス
（Ｑ９３１－ａ）

位置情報照合時の応答メッセージに関する情報要素

［パターン　　／　　］（複数のパターンの場合には、用紙を複写して記入すること。）

ファシリティ			————			————		
	————		————			————		
オクテット	コーディング		オクテット	コーディング		オクテット	コーディング	
1	０００１１１００	1C						
2								
3								

［記入上の注意点］

（１）省略されるオクテットには、何も記入せずブランクとすること。

（２）提出する様式には、１枚１枚に必ず会社名などを記入すること。

［備考］

別紙１－９（１／１）

会社名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

担　当＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

ＴＥＬ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

ＦＡＸ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

ＰＢＸ間ローミングサービス
（Ｑ９３１－ａ）

位置登録時のファシリティメッセージに関する情報要素

[パターン　　／　　]　（複数のパターンの場合には、用紙を複写して記入すること。）

ファシリティ			＿＿＿＿＿＿			＿＿＿＿＿＿		
	＿＿＿＿＿＿		＿＿＿＿＿＿			＿＿＿＿＿＿		
オクテット	コーディング		オクテット	コーディング		オクテット	コーディング	
1	０００１１１００	1C						
2								
3								

[記入上の注意点]

（１）省略されるオクテットには、何も記入せずブランクとすること。

（２）提出する様式には、１枚１枚に必ず会社名などを記入すること。

[備考]

別紙１－１０（１／１）

会社名
担　当
ＴＥＬ
ＦＡＸ

ＰＢＸ間ローミングサービス
（Ｑ９３１－ａ）

位置登録応答時の解放メッセージに関する情報要素

[パターン　　/　　]　(複数のパターンの場合には、用紙を複写して記入すること。)

ファシリティ								
オクテット	コーディング		オクテット	コーディング		オクテット	コーディング	
1	０００１１１００	1C						
2								
3								

[記入上の注意点]

（１）省略されるオクテットには、何も記入せずブランクとすること。

（２）提出する様式には、１枚１枚に必ず会社名などを記入すること。

[備考]

別紙１－１１（１／３）

会社名
担　当
ＴＥＬ
ＦＡＸ

ＰＢＸ間ローミングサービス
（ＪＳ－１１５７２）

サービスプロファイル問い合せ時の呼設定メッセージに関する情報要素
[パターン　　/　　]（複数のパターンの場合には、用紙を複写して記入すること。）

伝達能力（ＢＣ）			チャネル識別子		
オクテット	コーディング		オクテット	コーディング	
1	０００００１００	０４	1	０００１１０００	18
2			2		
3			3		
3ａ			~~3.1~~		
4			3.2		
~~4a~~			3.3		
~~4b~~					
5					
5a					
5b					
5c					
5d					
6					
6a					
7					
7a					

[記入上の注意点]

（１）省略されるオクテットには、何も記入せずブランクとすること。

（２）提出する様式には、１枚１枚に必ず会社名などを記入すること。

（３）伝達能力（ＢＣ）のオクテット4ａ，4ｂ及びチャネル識別子のオクテット3.1は使用しないこと。

[備考]

別紙１－１１（２／３）

会社名
担　当
ＴＥＬ
ＦＡＸ

ＰＢＸ間ローミングサービス
（ＪＳ－１１５７２）

サービスプロファイル問い合せ時の呼設定メッセージに関する情報要素

［パターン　　／　　］（複数のパターンの場合には、用紙を複写して記入すること。）

発番号			着番号		
指定する・省略する			――――――		
オクテット	コーディング		オクテット	コーディング	
1	０１１０１１００	6C	1	０１１１００００	70
2			2		
3			3		
３ａ			4		
4					

［記入上の注意点］

（１）省略されるオクテットには、何も記入せずブランクとすること。

（２）提出する様式には、１枚１枚に必ず会社名などを記入すること。

［備考］

別紙１－１１（３／３）

会社名
担　当
ＴＥＬ
ＦＡＸ

ＰＢＸ間ローミングサービス
（ＪＳ－１１５７２）

サービスプロファイル問い合せ時の呼設定メッセージに関する情報要素
[パターン　　/　　]　(複数のパターンの場合には、用紙を複写して記入すること。)

ファシリティ								
オクテット	コーディング		オクテット	コーディング		オクテット	コーディング	
1	００0１１１００	1C						
2								
3								

[記入上の注意点]

（１）省略されるオクテットには、何も記入せずブランクとすること。

（２）提出する様式には、１枚１枚に必ず会社名などを記入すること。

[備考]

別紙１－１２（１／３）

会社名

担　当

ＴＥＬ

ＦＡＸ

ＰＢＸ間ローミングサービス
（ＪＳ－１１５７２）

位置登録削除時の呼設定メッセージに関する情報要素

[パターン　　/　　]　（複数のパターンの場合には、用紙を複写して記入すること。）

伝達能力（ＢＣ）			チャネル識別子		
――――			――――		
オクテット	コーディング		オクテット	コーディング	
1	０００００１００	０４	1	０００１１０００	18
2			2		
3			3		
３ａ			~~3.1~~		
4			3.2		
~~4a~~			3.3		
~~4b~~					
5					
5a					
5b					
5c					
5d					
6					
6a					
7					
7a					

[記入上の注意点]

（１）省略されるオクテットには、何も記入せずブランクとすること。

（２）提出する様式には、１枚１枚に必ず会社名などを記入すること。

（３）伝達能力（ＢＣ）のオクテット4ａ，4ｂ及びチャネル識別子のオクテット3.1は使用しないこと。

[備考]

別紙１－１２（２／３）

会社名
担　当
ＴＥＬ
ＦＡＸ

ＰＢＸ間ローミングサービス
（ＪＳ－１１５７２）

位置登録削除時の呼設定メッセージに関する情報要素
［パターン　　／　　］（複数のパターンの場合には、用紙を複写して記入すること。）

発番号			着番号		
指定する・省略する			――――		
オクテット	コーディング		オクテット	コーディング	
1	０１１０１１００	6C	1	０１１１００００	70
2			2		
3			3		
3ａ			4		
4					

［記入上の注意点］
（１）省略されるオクテットには、何も記入せずブランクとすること。
（２）提出する様式には、１枚１枚に必ず会社名などを記入すること。

［備考］

別紙１－１２（３／３）

会社名
担　当
ＴＥＬ
ＦＡＸ

ＰＢＸ間ローミングサービス
（ＪＳ－１１５７２）

位置登録削除時の呼設定メッセージに関する情報要素

[パターン　　/　　]　(複数のパターンの場合には、用紙を複写して記入すること。)

ファシリティ								
オクテット	コーディング		オクテット	コーディング		オクテット	コーディング	
1	０００１１１００	1C						
2								
3								

[記入上の注意点]

（１）省略されるオクテットには、何も記入せずブランクとすること。

（２）提出する様式には、１枚１枚に必ず会社名などを記入すること。

[備考]

別紙１－１３（１／３）

会社名
担　当
ＴＥＬ
ＦＡＸ

ＰＢＸ間ローミングサービス
（ＪＳ－１１５７２）

ローミング着信時の呼設定メッセージに関する情報要素
［パターン　　／　　］（複数のパターンの場合には、用紙を複写して記入すること。）

伝達能力（ＢＣ）			チャネル識別子		
――――			――――		
オクテット	コーディング		オクテット	コーディング	
1	０００００１００	０４	1	０００１１０００	18
2			2		
3			3		
３ａ			~~３．１~~		
4			３．２		
~~4a~~			３．３		
~~4b~~					
5					
5a					
5b					
5c					
5d					
6					
6a					
7					
7a					

［記入上の注意点］
（１）省略されるオクテットには、何も記入せずブランクとすること。
（２）提出する様式には、１枚１枚に必ず会社名などを記入すること。
（３）伝達能力（ＢＣ）のオクテット4ａ，4ｂ及びチャネル識別子のオクテット3.1は使用しないこと。

［備考］

別紙１－１３（２／３）

会社名
担　当
ＴＥＬ
ＦＡＸ

ＰＢＸ間ローミングサービス
（ＪＳ－１１５７２）

ローミング着信時の呼設定メッセージに関する情報要素
[パターン　　/　　]　(複数のパターンの場合には、用紙を複写して記入すること。)

発番号			着番号		
指定する・省略する			――――――		
オクテット	コーディング		オクテット	コーディング	
1	０１１０１１００	6C	1	０１１１００００	70
2			2		
3			3		
３a			4		
4					

[記入上の注意点]
（１）省略されるオクテットには、何も記入せずブランクとすること。
（２）提出する様式には、１枚１枚に必ず会社名などを記入すること。

[備考]

別紙１－１３（３／３）

会社名
担　当
ＴＥＬ
ＦＡＸ

ＰＢＸ間ローミングサービス
（ＪＳ－１１５７２）

ローミング着信時の呼設定メッセージに関する情報要素

［パターン　　／　　］（複数のパターンの場合には、用紙を複写して記入すること。）

ファシリティ								
オクテット	コーディング		オクテット	コーディング		オクテット	コーディング	
1	００００１１１００	1C						
2								
3								

［記入上の注意点］

（１）省略されるオクテットには、何も記入せずブランクとすること。

（２）提出する様式には、１枚１枚に必ず会社名などを記入すること。

［備考］

別紙１－１４（１／３）

会社名
担　当
ＴＥＬ
ＦＡＸ

ＰＢＸ間ローミングサービス
（ＪＳ－１１５７２）

位置情報照合　（Ｈ→Ｖ）時の呼設定メッセージに関する情報要素
[パターン　／　]　（複数のパターンの場合には、用紙を複写して記入すること。）

伝達能力（ＢＣ）			チャネル識別子		
オクテット	コーディング		オクテット	コーディング	
1	０００００１００	０４	1	０００１１０００	18
2			2		
3			3		
3ａ			~~3.1~~		
4			3.2		
~~4a~~			3.3		
~~4b~~					
5					
5a					
5b					
5c					
5d					
6					
6a					
7					
7a					

[記入上の注意点]
（１）省略されるオクテットには、何も記入せずブランクとすること。
（２）提出する様式には、１枚１枚に必ず会社名などを記入すること。
（３）伝達能力（ＢＣ）のオクテット4ａ，4ｂ及びチャネル識別子のオクテット3.1は使用しないこと。

[備考]

別紙１－１４（２／３）

会社名
担　当
ＴＥＬ
ＦＡＸ

ＰＢＸ間ローミングサービス
（ＪＳ－１１５７２）

位置情報照合　（Ｈ→Ｖ）時の呼設定メッセージに関する情報要素

[パターン　／　]　（複数のパターンの場合には、用紙を複写して記入すること。）

発番号			着番号		
指定する・省略する			――――――		
オクテット	コーディング		オクテット	コーディング	
1	０１１０１１００	6C	1	０１１１００００	70
2			2		
3			3		
3ａ			4		
4					

[記入上の注意点]

（１）省略されるオクテットには、何も記入せずブランクとすること。

（２）提出する様式には、１枚１枚に必ず会社名などを記入すること。

[備考]

別紙１－１４（３／３）

会社名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
担　当＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
ＴＥＬ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
ＦＡＸ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

ＰＢＸ間ローミングサービス
（ＪＳ－１１５７２）

位置情報照合　（Ｈ→Ｖ）時の呼設定メッセージに関する情報要素
[パターン　　／　　]　（複数のパターンの場合には、用紙を複写して記入すること。）

ファシリティ			＿＿＿＿			＿＿＿＿		
	＿＿＿＿		＿＿＿＿			＿＿＿＿		
オクテット	コーディング		オクテット	コーディング		オクテット	コーディング	
1	０００１１１００	1C						
2								
3								

[記入上の注意点]

（１）省略されるオクテットには、何も記入せずブランクとすること。

（２）提出する様式には、１枚１枚に必ず会社名などを記入すること。

[備考]

別紙１－１５（１／３）

会社名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
担　当＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
ＴＥＬ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
ＦＡＸ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

ＰＢＸ間ローミングサービス
（ＪＳ－１１５７２）

位置情報照合（Ｖ→Ｈ）時の呼設定メッセージに関する情報要素
[パターン　　／　　]　（複数のパターンの場合には、用紙を複写して記入すること。）

伝達能力（ＢＣ）			チャネル識別子		
＿＿＿＿			＿＿＿＿		
オクテット	コーディング		オクテット	コーディング	
1	０００００１００	０4	1	０００１１０００	18
2			2		
3			3		
3ａ			~~3.1~~		
4			3.2		
~~4a~~			3.3		
~~4b~~					
5					
5a					
5b					
5c					
5d					
6					
6a					
7					
7a					

[記入上の注意点]

（１）省略されるオクテットには、何も記入せずブランクとすること。
（２）提出する様式には、１枚１枚に必ず会社名などを記入すること。
（３）伝達能力（ＢＣ）のオクテット4ａ，４ｂ及びチャネル識別子のオクテット3.1は使用しないこと。

[備考]

別紙１－１５（２／３）

会社名
担　当
ＴＥＬ
ＦＡＸ

ＰＢＸ間ローミングサービス
（ＪＳ－１１５７２）

位置情報照合（Ｖ→Ｈ）時の呼設定メッセージに関する情報要素
[パターン　　／　　]　（複数のパターンの場合には、用紙を複写して記入すること。）

発番号			着番号		
指定する･省略する			――――――		
オクテット	コーディング		オクテット	コーディング	
1	０１１０１１００	6C	1	０１１１００００	70
2			2		
3			3		
３ａ			4		
4					

[記入上の注意点]
（１）省略されるオクテットには、何も記入せずブランクとすること。
（２）提出する様式には、１枚１枚に必ず会社名などを記入すること。

[備考]

別紙１－１５（３／３）

会社名
担　当
ＴＥＬ
ＦＡＸ

ＰＢＸ間ローミングサービス
（ＪＳ－１１５７２）

位置情報照合（Ｖ→Ｈ）時の呼設定メッセージに関する情報要素
［パターン　　／　　］（複数のパターンの場合には、用紙を複写して記入すること。）

ファシリティ			＿＿＿＿			＿＿＿＿		
	＿＿＿＿		＿＿＿＿			＿＿＿＿		
オクテット	コーディング		オクテット	コーディング		オクテット	コーディング	
1	０００１１１００	1C						
2								
3								

［記入上の注意点］

（１）省略されるオクテットには、何も記入せずブランクとすること。

（２）提出する様式には、１枚１枚に必ず会社名などを記入すること。

［備考］

別紙１－１６（１／２）

会社名
担　当
ＴＥＬ
ＦＡＸ

ＰＢＸ間ローミングサービス
（ＪＳ－１１５７２）

サービスプロファイル問い合せ時の応答メッセージに関する情報要素（シナリオ１）

[パターン　　／　　]（複数のパターンの場合には、用紙を複写して記入すること。）

ファシリティ			―――――			―――――		
	―――――		―――――			―――――		
オクテット	コーディング		オクテット	コーディング		オクテット	コーディング	
1	００DOUBLE	1C						
2								
3								

[記入上の注意点]

（１）省略されるオクテットには、何も記入せずブランクとすること。

（２）提出する様式には、１枚１枚に必ず会社名などを記入すること。

[備考]

別紙１－１６（２／２）

会社名
担　当
ＴＥＬ
ＦＡＸ

ＰＢＸ間ローミングサービス
（ＪＳ－１１５７２）

サービスプロファイル問い合せ時の応答メッセージに関する情報要素（シナリオ１ａ）
[パターン　　/　　]　（複数のパターンの場合には、用紙を複写して記入すること。）

ファシリティ								
オクテット	コーディング		オクテット	コーディング		オクテット	コーディング	
1	０００１１１００	1C						
2								
3								

[記入上の注意点]
（１）省略されるオクテットには、何も記入せずブランクとすること。
（２）提出する様式には、１枚１枚に必ず会社名などを記入すること。
（３）通知する認証種別情報要素と、認証演算アルゴリズムの対応を備考に記述すること。

[備考]

別紙１－１７（１／１）

会社名
担　当
ＴＥＬ
ＦＡＸ

ＰＢＸ間ローミングサービス
（ＪＳ－１１５７２）

位置登録削除時の応答メッセージに関する情報要素

[パターン　　/　　]　（複数のパターンの場合には、用紙を複写して記入すること。）

ファシリティ			＿＿＿＿			＿＿＿＿		
	＿＿＿＿		＿＿＿＿			＿＿＿＿		
オクテット	コーディング		オクテット	コーディング		オクテット	コーディング	
1	０００１１１００	1C						
2								
3								

[記入上の注意点]

（１）省略されるオクテットには、何も記入せずブランクとすること。

（２）提出する様式には、１枚１枚に必ず会社名などを記入すること。

[備考]

別紙１－１８（１／１）

会社名
担　当
ＴＥＬ
ＦＡＸ

ＰＢＸ間ローミングサービス
（ＪＳ－１１５７２）

位置情報照合時の応答メッセージに関する情報要素

［パターン　　／　　］　（複数のパターンの場合には、用紙を複写して記入すること。）

ファシリティ								
オクテット	コーディング		オクテット	コーディング		オクテット	コーディング	
1	０００１１１００	1C						
2								
3								

［記入上の注意点］

（１）省略されるオクテットには、何も記入せずブランクとすること。

（２）提出する様式には、１枚１枚に必ず会社名などを記入すること。

［備考］

別紙1－19（1／1）

会社名

担　当

TEL

FAX

PBX間ローミングサービス
（JS－11572）

位置登録時のファシリティメッセージに関する情報要素

［パターン　　／　　］（複数のパターンの場合には、用紙を複写して記入すること。）

ファシリティ								
オクテット	コーディング		オクテット	コーディング		オクテット	コーディング	
1	00011100	1C						
2								
3								

［記入上の注意点］

（1）省略されるオクテットには、何も記入せずブランクとすること。

（2）提出する様式には、1枚1枚に必ず会社名などを記入すること。

［備考］

別紙１－２０（１／１）

会社名
担　当
ＴＥＬ
ＦＡＸ

ＰＢＸ間ローミングサービス
（ＪＳ－１１５７２）

位置登録応答時の解放メッセージに関する情報要素

[パターン　　/　　]　（複数のパターンの場合には、用紙を複写して記入すること。）

ファシリティ			――――――			――――――		
	――――――		――――――			――――――		
オクテット	コーディング		オクテット	コーディング		オクテット	コーディング	
1	０００１１１００	1C						
2								
3								

[記入上の注意点]

（１）省略されるオクテットには、何も記入せずブランクとすること。

（２）提出する様式には、１枚１枚に必ず会社名などを記入すること。

[備考]

別紙２－１

会社名
担　当
ＴＥＬ
ＦＡＸ

ＰＢＸ間ローミング付加サービス相互接続試験条件リスト（Ｑ９３１－ａ）

Ｎｏ．	項　　　目	選択パラメータ	備　　　考
1	プロトコル識別子	①４２	
2	呼番号長	①２	
3	着番号のオクテット３	①８０　　②その他	その他のオクテット３のみ記入する（　　）
4	発番号のオクテット３	①８０　　②その他	その他のオクテット３のみ記入する（　　）
5	発番号のオクテット３ａ	①省略　　②その他	その他のオクテット３aのみ記入する（　　）
6	リスタート受信時の手順	①ACKをかえす	リスタートの範囲はチャネル毎、インタフェース毎、全インタフェースの３種類がありうる
7	シナリオ１　認証鍵情報送受手順	①あり ②なし	
8	シナリオ１ａ　認証鍵情報送受信手順	①あり ②なし	

［記入上の注意点］

（１）提出された様式には、１枚１枚必ず会社名等を記入すること。

別紙２－２

会社名
担　当
ＴＥＬ
ＦＡＸ

ＰＢＸ間ローミング付加サービス相互接続試験条件リスト（ＪＳ－１１５７２）

Ｎｏ.	項　　　目	選択パラメータ	備　　　考
1	プロトコル識別子	①０８	
2	呼番号長	①２	
3	着番号のオクテット３	①８０　　②その他	その他のオクテット３のみ記入する（　　）
4	発番号のオクテット３	①８０　　②その他	その他のオクテット３のみ記入する（　　）
5	発番号のオクテット３a	①省略　　②その他	その他のオクテット３aのみ記入する（　　）
6	リスタート受信時の手順	①ACKをかえす	リスタートの範囲はチャネル毎、全インタフェースの２種類がありうる
7	分割発呼手順	①あり ②なし	
8	分割着呼手順	①あり ②なし	
9	シナリオ１　認証鍵情報送受手順	①あり ②なし	
10	シナリオ１ａ　認証鍵情報送受信手順	①あり ②なし	

［記入上の注意点］

（１）提出された様式には、１枚１枚必ず会社名等を記入すること。

別紙 3-1

（注）試験終了後速やかに報告のこと

受信		発信	会社名・部課名	機　種　名
	殿		発信者名	

FAX

PＢＸ間ローミング付加サービス相互接続試験チェックリスト（Ｑ９３１-ａ　ホーム局）

項番	チェック項目	判　定　基　準										
1	専用線パス設定	正常にデータリンクが設定されること。（判定○、または×）										
2	ｻｰﾋﾞｽﾌﾟﾛﾌｧｲﾙ問い合せ 位置登録	正常に位置登録できること。（判定○、または×）										
3	発　信	正常に発信でき相手に着信できること。（判定○、または×）										
4	ローミング着信	正常に着信できること。（判定○、または×）										
5	位置情報照合	ビジタ局とホーム局間でデータベース整合ができること。（判定○、または×）										
6	位置登録削除	ビジタ／ホーム局のロケーションレジスタが削除されること。（判定○、または×）										
総　合　評　価　（判定○、または×）												
試　験　日　時			月 日 : 〜 :	月 日 : 〜 :	月 日 : 〜 :	月 日 : 〜 :	月 日 : 〜 :	月 日 : 〜 :	月 日 : 〜 :	月 日 : 〜 :	月 日 : 〜 :	月 日 : 〜 :
備　考												

別紙 3-2

（注）試験終了後速やかに報告のこと

受信		発信	会社名・部課名	機種名
	殿		発信者名	

FAX

PBX間ローミング付加サービス相互接続試験チェックリスト（Q931-a　ビジタ局）

項番	チェック項目	判定基準										
1	専用線パス設定	正常にデータリンクが設定されること。（判定○、または×）										
2	ｻｰﾋﾞｽﾌﾟﾛﾌｧｲﾙ問い合せ 位置登録	正常に位置登録できること。（判定○、または×）										
3	発信	正常に発信でき相手に着信できること。（判定○、または×）										
4	ローミング着信	正常に着信できること。（判定○、または×）										
5	位置情報照合	ビジタ局とホーム局間でデータベース整合ができること。（判定○、または×）										
6	位置登録削除	ビジタ／ホーム局のロケーションレジスタが削除されること。（判定○、または×）										
総合評価（判定○、または×）												
試験日時			月 日 : ～ :	月 日 : ～ :	月 日 : ～ :	月 日 : ～ :	月 日 : ～ :	月 日 : ～ :	月 日 : ～ :	月 日 : ～ :	月 日 : ～ :	月 日 : ～ :
備考												

別紙 3-3

（注）試験終了後速やかに報告のこと

受信		発信		機種名
			会社名・部課名	
	殿		発信者名	

FAX

PＢＸ間ローミング付加サービス相互接続試験チェックリスト（ＪＳ－１１５７２　ホーム局）

項番	チェック項目	判定基準										
1	専用線パス設定	正常にデータリンクが設定されること。（判定○、または×）										
2	ｻｰﾋﾞｽﾌﾟﾛﾌｧｲﾙ問い合せ 位置登録	正常に位置登録できること。（判定○、または×）										
3	発信	正常に発信でき相手に着信できること。（判定○、または×）										
4	ローミング着信	正常に着信できること。（判定○、または×）										
5	位置情報照合	ビジタ局とホーム局間でデータベース整合ができること。（判定○、または×）										
6	位置登録削除	ビジタ／ホーム局のロケーションレジスタが削除されること。（判定○、または×）										
総合評価　（判定○、または×）												
試験日時			月 日 : 〜 :	月 日 : 〜 :	月 日 : 〜 :	月 日 : 〜 :	月 日 : 〜 :	月 日 : 〜 :	月 日 : 〜 :	月 日 : 〜 :	月 日 : 〜 :	月 日 : 〜 :
備考												

別紙 3-4

（注）試験終了後速やかに報告のこと

受信		発信	会社名・部課名	機種名
	殿		発信者名	

FAX

PBX間ローミング付加サービス相互接続試験チェックリスト（JS－11572　ビジタ局）

項番	チェック項目	判定基準										
1	専用線パス設定	正常にデータリンクが設定されること。（判定○、または×）										
2	ｻｰﾋﾞｽﾌﾟﾛﾌｧｲﾙ問い合せ 位置登録	正常に位置登録できること。（判定○、または×）										
3	発信	正常に発信でき相手に着信できること。（判定○、または×）										
4	ローミング着信	正常に着信できること。（判定○、または×）										
5	位置情報照合	ビジタ局とホーム局間でデータベース整合ができること。（判定○、または×）										
6	位置登録削除	ビジタ／ホーム局のロケーションレジスタが削除されること。（判定○、または×）										
総合評価（判定○、または×）												
試験日時			月 日 : ～ :	月 日 : ～ :	月 日 : ～ :	月 日 : ～ :	月 日 : ～ :	月 日 : ～ :	月 日 : ～ :	月 日 : ～ :	月 日 : ～ :	月 日 : ～ :
備考												

別紙4-1

ＰＢＸ相互接続試験結果表
（ＰＢＸ間ローミング付加サービス）

ＰＢＸ間ローミング付加サービス相互接続試験　（Ｑ９３１－ａ）

試験日　　　月　　日

ホーム ＼ ビジタ								
	＼							
		＼						
			＼					
				＼				
					＼			
						＼		
							＼	
								＼

判定　○　：　接続可
　　　△　：　条件付きで接続可
　　　×　：　接続不可

別紙４-2

ＰＢＸ相互接続試験結果表
（ＰＢＸ間ローミング付加サービス）

ＰＢＸ間ローミング付加サービス相互接続試験　（ＪＳ－１１５７２）

試験日　　　月　　日

ホーム ＼ ビジタ								
	＼							
		＼						
			＼					
				＼				
					＼			
						＼		
							＼	
								＼

判定　○　:　接続可
　　　△　:　条件付きで接続可
　　　×　:　接続不可

●本ガイドラインの最新版については、TTCホームページの「TTC標準・出版物案内」の「相互接続試験実施ガイドライン」の項目にて最新の版数をご確認ください。
(ホームページ　ｈｔｔｐ：／／ｗｗｗ．ｔｔｃ．ｏｒ．ｊｐ／)

ＴＴＣ相互接続試験実施ガイドライン	ＴＴＣ－Ｇ－０１７－Ｖ２

PBX間相互接続試験実施ガイドライン－PBX間ローミング付加サービス－　第2版

2000年5月31日　発　行　　定価2,400円（本体2,286円）

発行所　社団法人電信電話技術委員会
〒105-0013　東京都港区浜松町1-2-11
浜松町鈴木ビル2F
TEL.(03)3432-1551　FAX.(03)3432-1553

印刷所　㈱一二三書房